資料1

新潟市公民館運営審議会

第1期　第5回
令和8年7月10日（金）午前10時～
クロスパルにいがた　403講座室

第１期　第５回新潟市公民館運営審議会　次第

１．　開会
２．　中央公民館長あいさつ
３．　議長あいさつ
４．　報告・議題
（１）　公民館の現状と予算・決算について
（２）　公民館の事業について
（３）　公民館のあり方について
（４）　審議委員への討議事項
「公民館の再編を見据えた
公民館の役割と運営のあり方」について
（５）　その他
5.　閉会

（１）公民館の現状と予算・決算について

公民館の現状について

令和8年度 職員数	令和７年度 主催事業実績	令和７年度 貸館実績
● 正職員　81人 ● 会計年度任用職員　68人 ● 合計　149人 令和8年4月1日現在	● 講座件数　672件 ● 延べ参加者数　187,214人	● 利用団体数　3,707団体 ● 延べ利用者数　529,018人

予算・決算について

単位：千円

		令和7年度		令和8年度
		当初予算	決算	当初予算
歳入	公民館使用料	32,012	27,804	32,056
	行政財産使用料など	1,959	2,052	1,795
	雑入	2,342	2,372	2,622
歳出	家庭教育振興事業費	6,789	6,081	6,789
	公民館事業費	4,338	3,753	4,119
	こども体験活動・ ボランティア活動推進事業	973	852	882
	施設管理運営費	276,739	269,080	275,535

（２）公民館の事業について

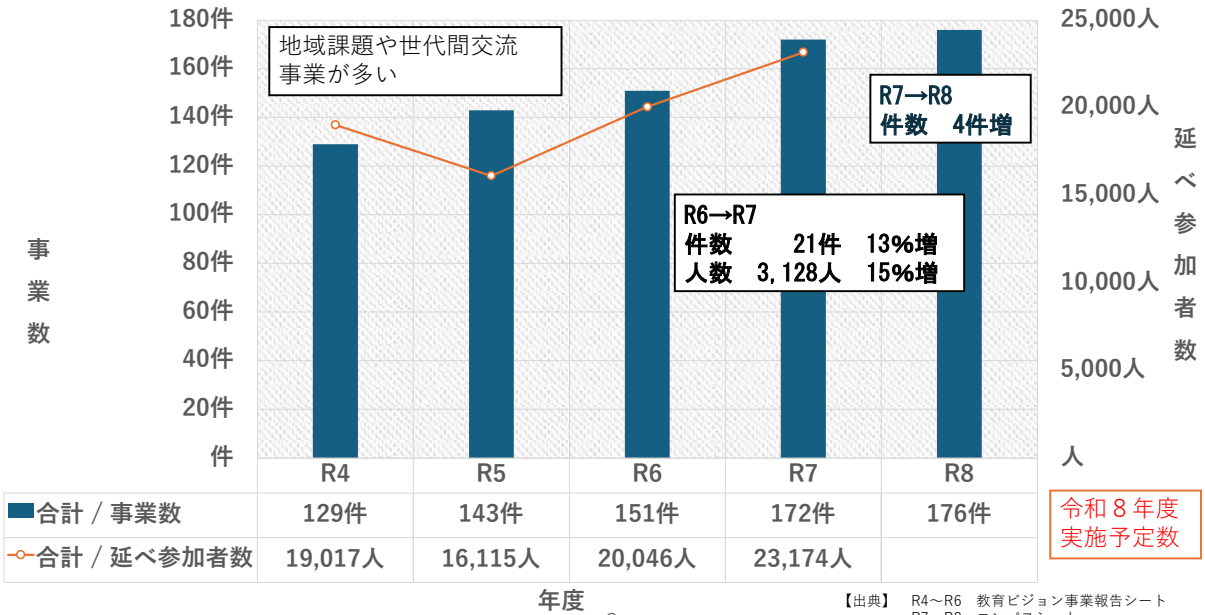
令和7年度事業報告
令和8年度事業予定

※令和８年度実施予定数
（５月末現在）

公民館事業の取組

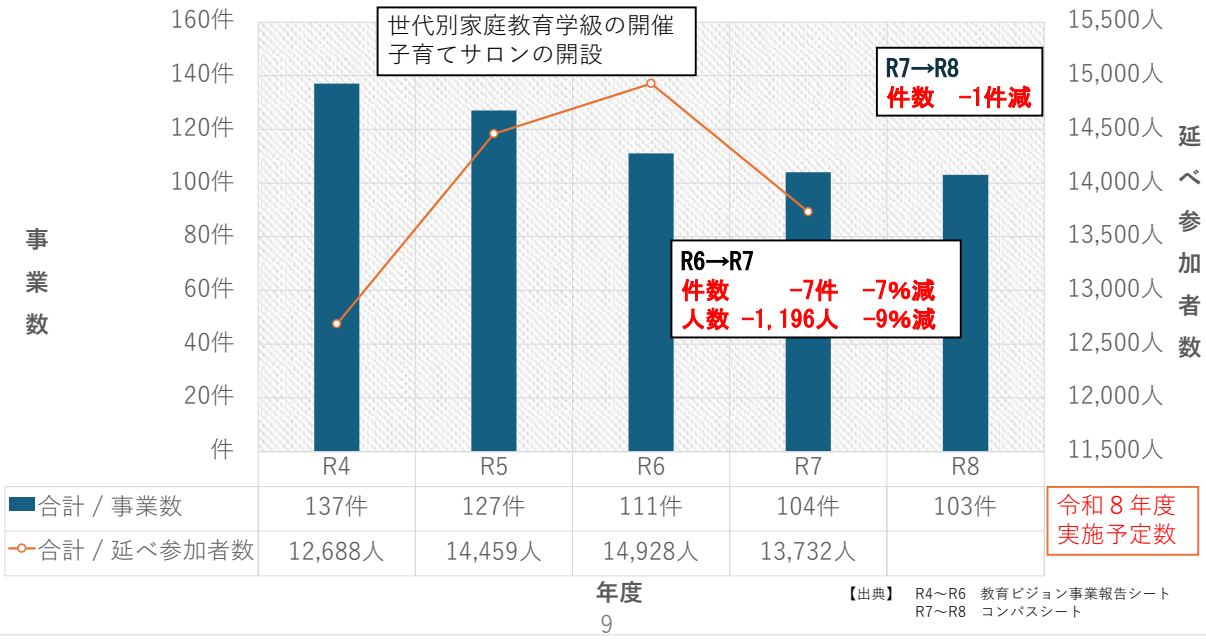
1. 人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援
2. 家庭における教育力向上の支援
3. 青少年の生き抜く力を育む機会の充実
4. 高齢者の学習支援や社会参加の促進
5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

1　人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援



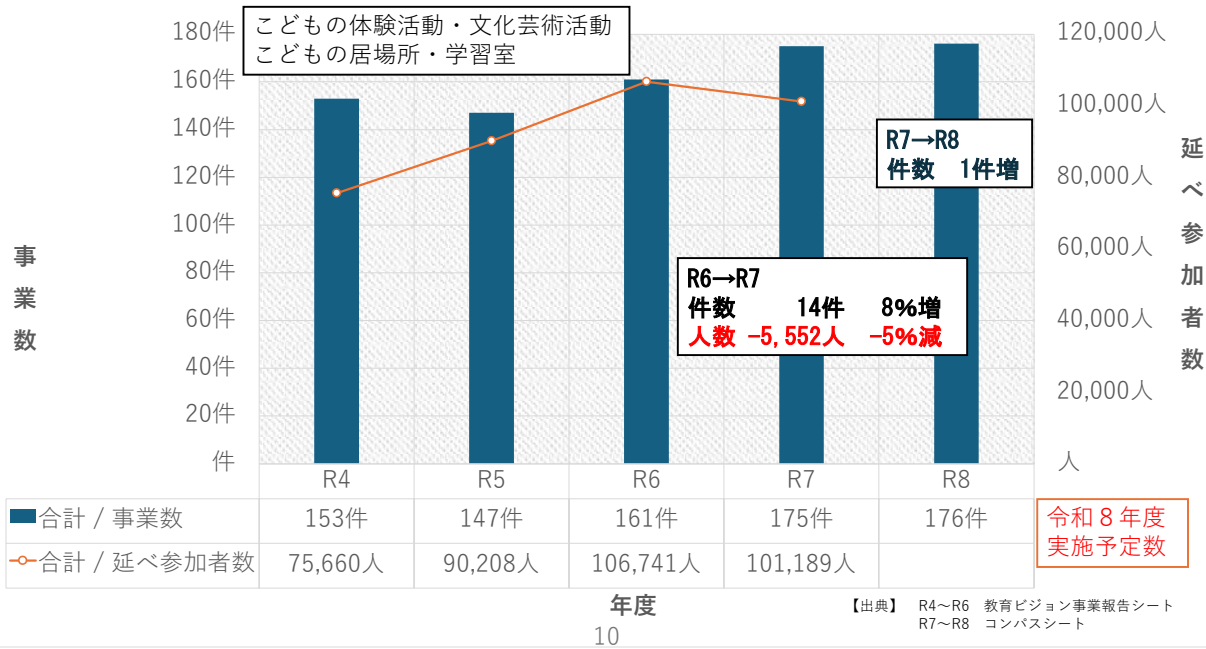
【出典】　R4～R6　教育ビジョン事業報告シート
R7～R8　コンパスシート

2　家庭における教育力向上の支援



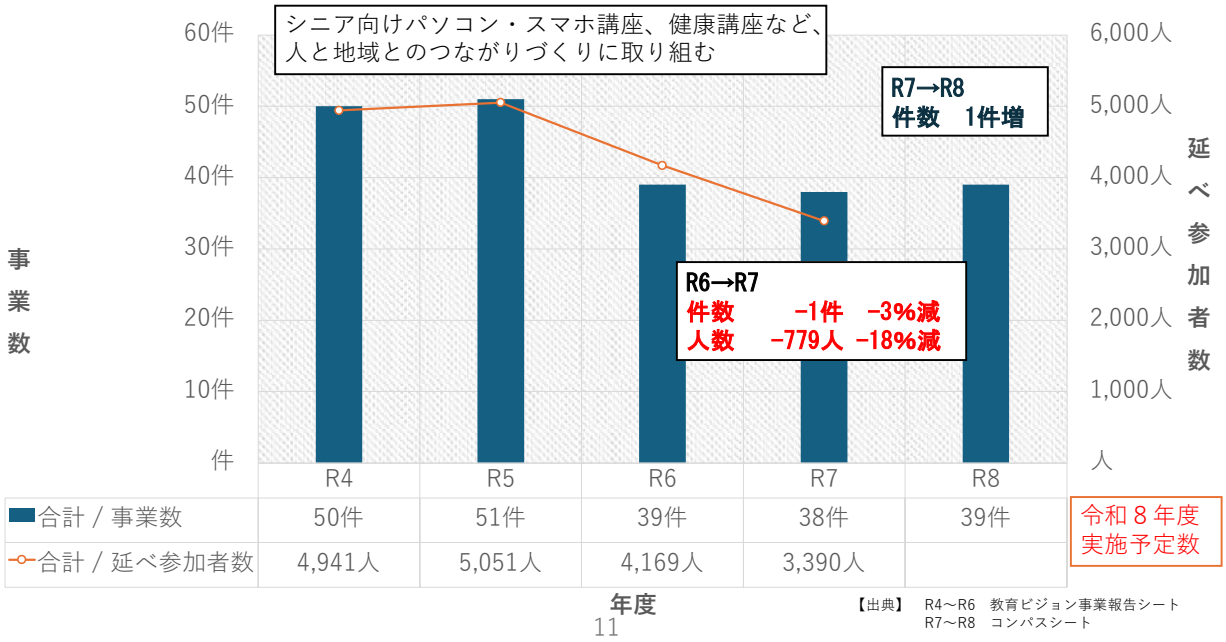
【出典】　R4～R6　教育ビジョン事業報告シート
R7～R8　コンパスシート

3　青少年の生き抜く力を育む機会の充実



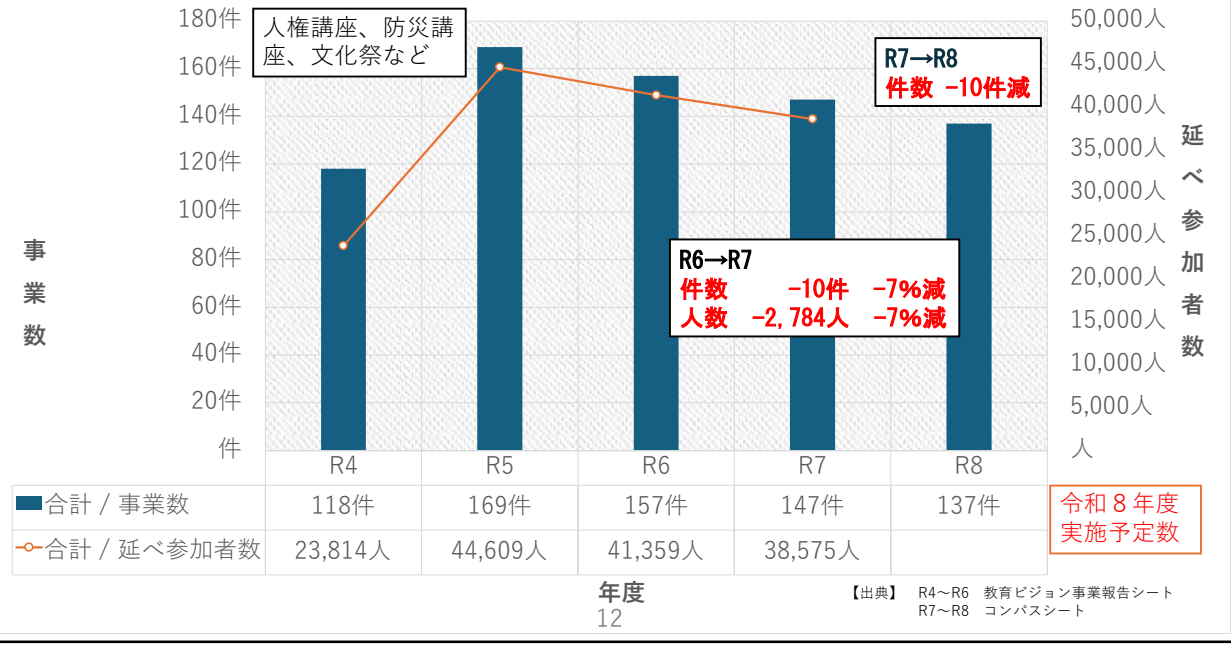
【出典】　R4～R6　教育ビジョン事業報告シート
R7～R8　コンパスシート

4　高齢者の学習支援や社会参加の促進

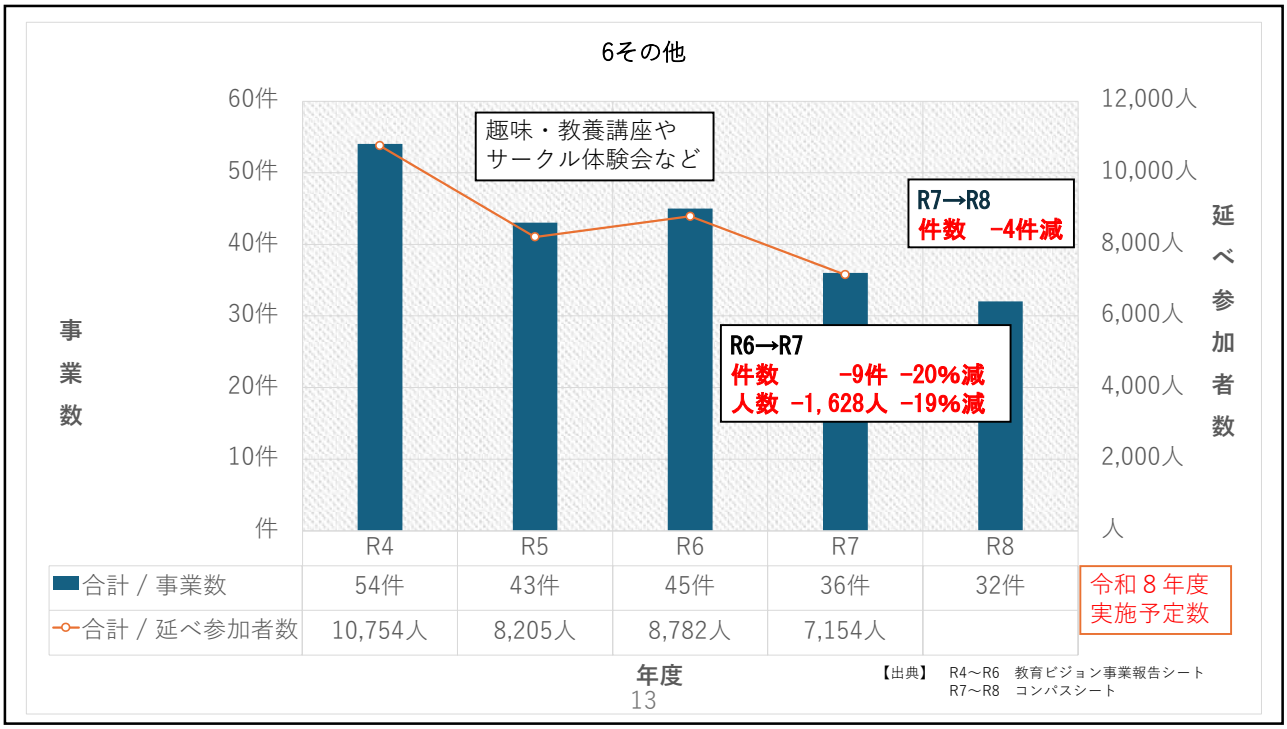


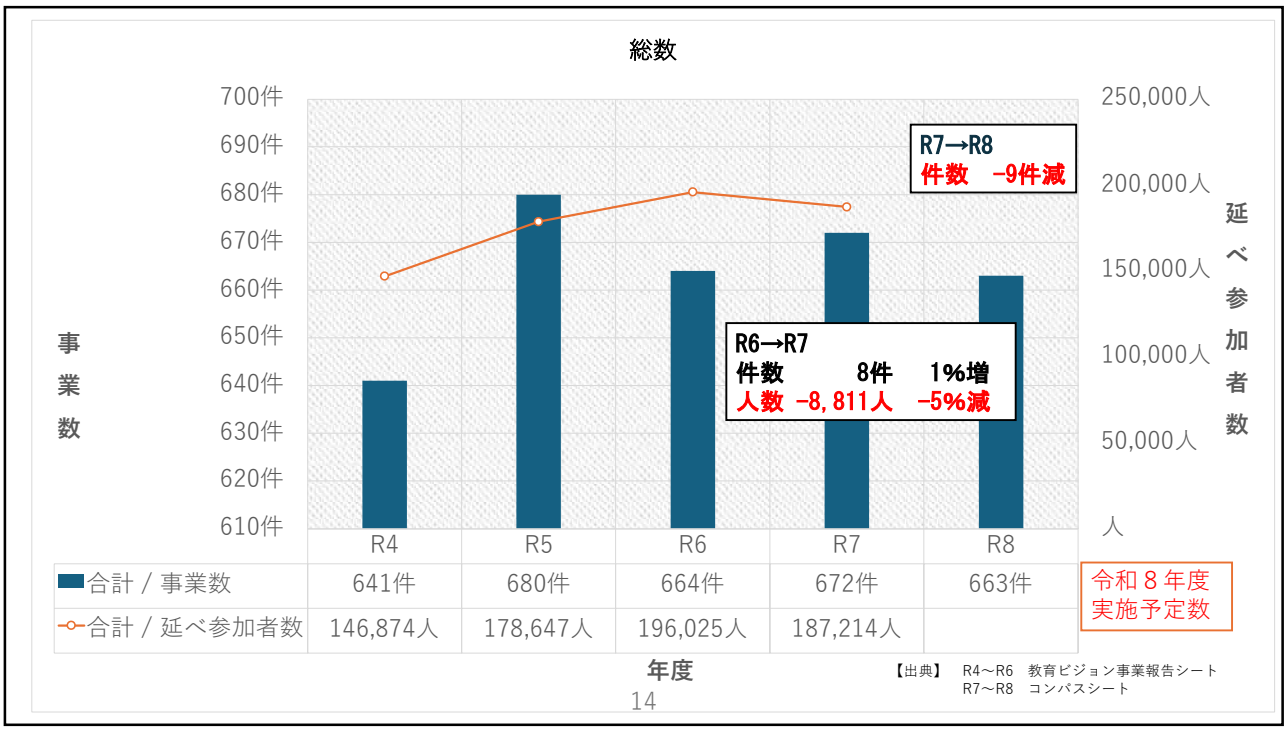
【出典】　R4～R6　教育ビジョン事業報告シート
R7～R8　コンパスシート

5　現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供



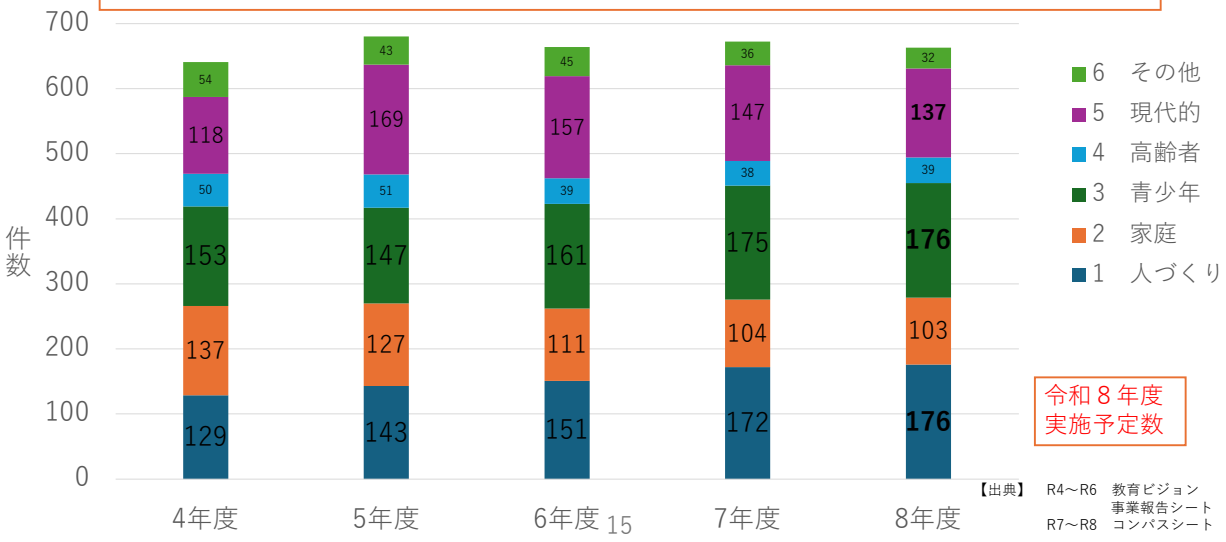
【出典】　R4～R6　教育ビジョン事業報告シート
R7～R8　コンパスシート


6その他
60件
50件
40件
30件
20件
10件
件
事業数
12,000人
10,000人
8,000人
6,000人
4,000人
2,000人
人
延べ参加者数
趣味・教養講座や
サークル体験会など
R7→R8
件数 −4件減
R6→R7
件数 −9件 −20%減
人数 −1,628人 −19%減
R4
R5
R6
R7
R8
合計 / 事業数
54件
43件
45件
36件
32件
令和８年度
実施予定数
合計 / 延べ参加者数
10,754人
8,205人
8,782人
7,154人
年度
【出典】 R4～R6 教育ビジョン事業報告シート
R7～R8 コンパスシート


総数
700件
690件
680件
670件
660件
650件
640件
630件
620件
610件
事業数
250,000人
200,000人
150,000人
100,000人
50,000人
人
延べ参加者数
R7→R8
件数 −9件減
R6→R7
件数 8件 1%増
人数 −8,811人 −5%減
R4
R5
R6
R7
R8
合計 / 事業数
641件
680件
664件
672件
663件
令和８年度
実施予定数
合計 / 延べ参加者数
146,874人
178,647人
196,025人
187,214人
年度
【出典】 R4～R6 教育ビジョン事業報告シート
R7～R8 コンパスシート

年度別事業数（積み上げ）

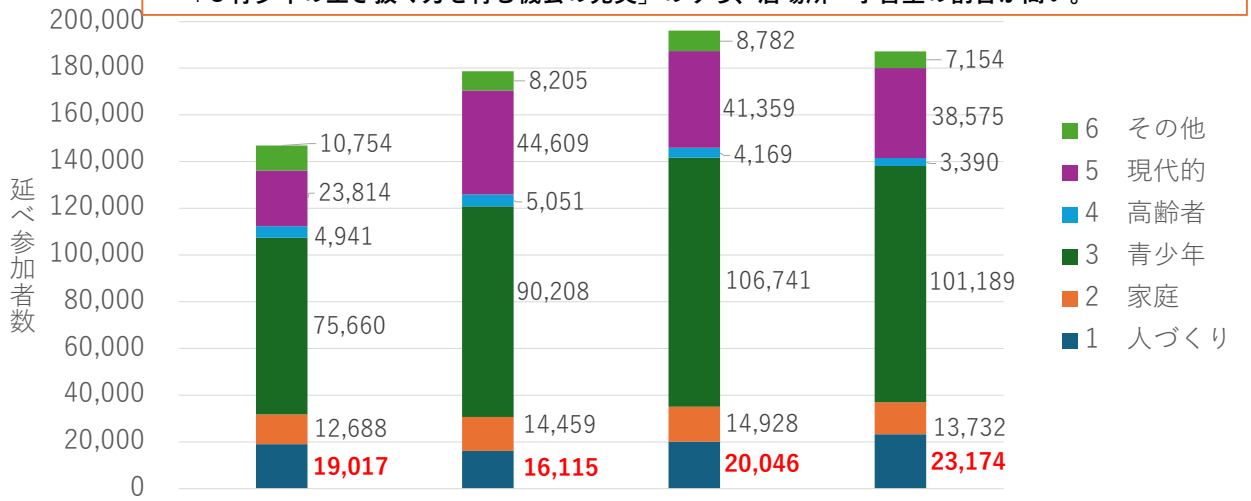
- 「人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援」・「青少年の生き抜く力を育む機会の充実」の事業件数が他に比べると多い。
- 「現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供」の事業件数が、他の事業に比べると減少数が一番多い。



【出典】 R4～R6 教育ビジョン事業報告シート
R7～R8 コンパスシート

年度別延べ参加者数（積み上げ）

- 「１人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援」は、他の取り組みの参加人数は減少している中で、唯一増加している。
- 「３青少年の生き抜く力を育む機会の充実」のうち、居場所・学習室の割合が高い。

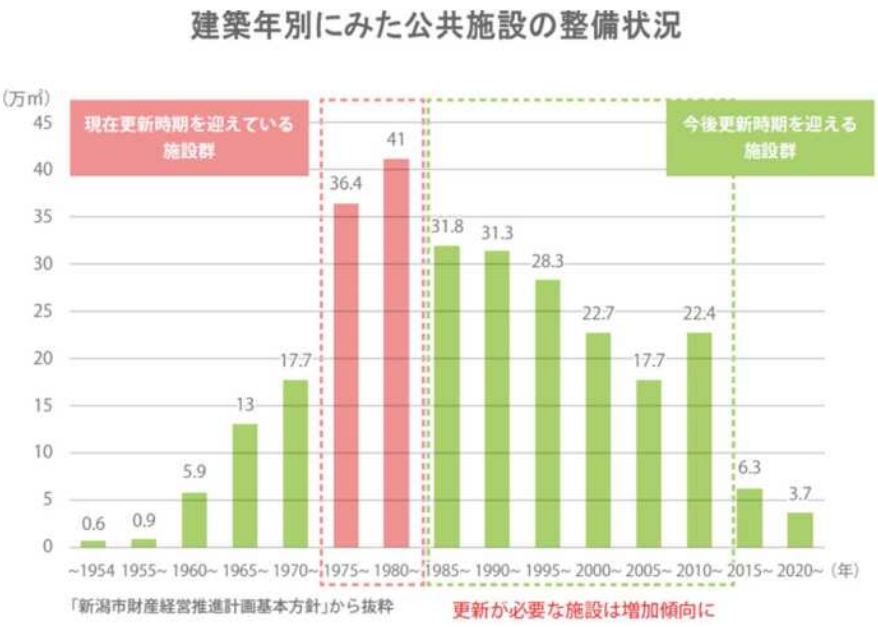


【出典】 R4～R6 教育ビジョン事業報告シート
R7～R8 コンパスシート

（３）公民館のあり方について

・「公共施設のこれからを考える基本的な指針」
・公民館施設の見直し
・組織体制について
・施設の再編をふまえて、公民館事業を考える

課題１　老朽する施設が増加



老朽化した
すべての施設を
修繕・建て替えし
維持していくには
多くの費用が必要
となります。

【出典】パンフレット
future ～みんなで考えよう施設とまちのこれからを～

新潟市
の
公民館

赤枠は、
昭和50年代に
建築した公民館。
14館

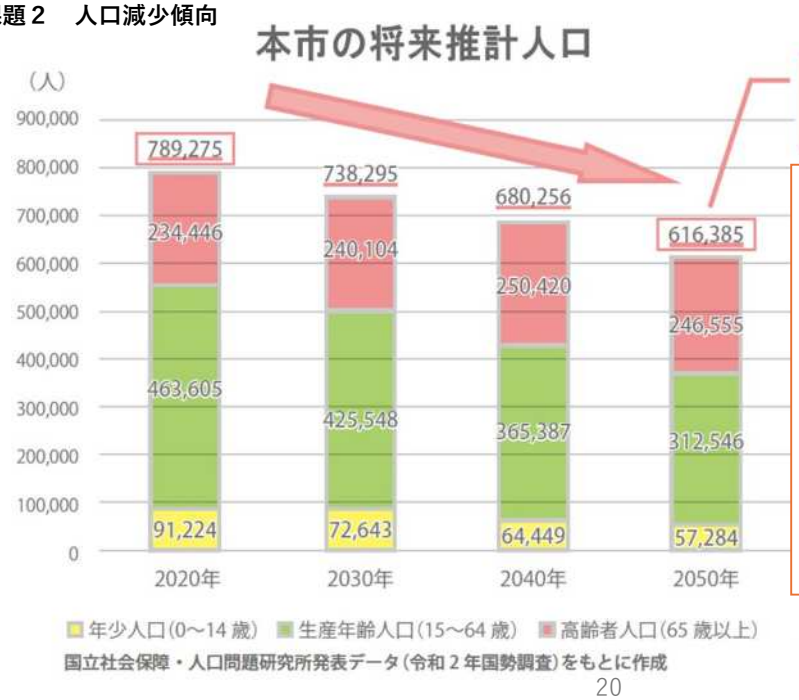
そのうち3館の建築年は、
昭和50年代以前から平成にかけての記録になっている。
・新津S41～H29
・味方S55～H24
・月潟S52～H6

参考資料
令和７年度
新潟市財産白書



19

課題２　人口減少傾向

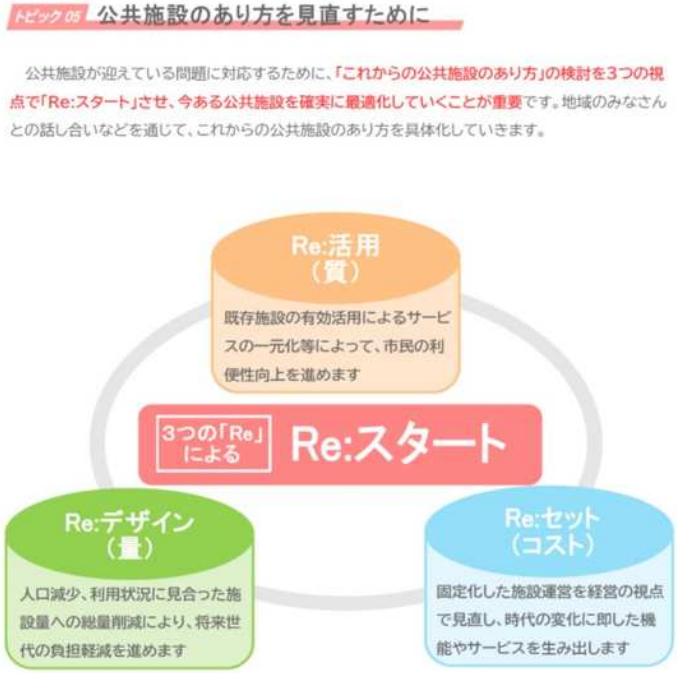


30年間で約17万3千人の減
（▲22%）

少子・超高齢化などで人口が減ることで税収が減っていく見込みの中、限られた税収で今までどおり公共施設を運営することは難しい状況です。

【出典】パンフレット
future ～みんなで考えよう施設とまちのこれからを～

20



【出典】パンフレット future
~みんなで考えよう施設とまちのこれからを~

公民館施設の見直し（地区公民館）

※「公共施設のこれからを考える基本的な指針」から抜粋

	考え方	具体案
Ｒｅ：活用	**施設の集約化は地域性を念頭に置き、老朽化の状況、近隣の類似施設、利用状況、コストなどで判断**	**地域別実行計画に併せ、集約化や再編を検討**
Ｒｅ：デザイン	**利用率の低い部屋は、市民ニーズにあった利用用途を検討**	**学習スペース、こどもの居場所などに変更**
	保育室等専用室の多用途化	**多目的ルームなどに変更**
Ｒｅ：セット	**利用状況調査を行い、運営方法を最適化**	**閉館日の増加、開館時間短縮、指定管理者制度導入、基幹へ職員集約化**

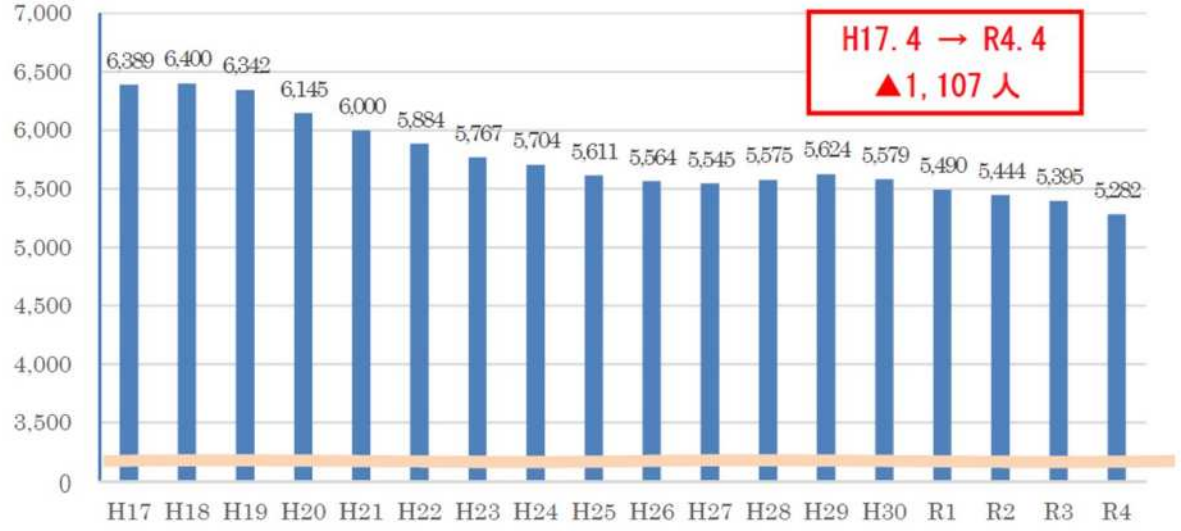
【出典】新潟市定員配置計画2023

今後のスケジュール

	内容
短期目標（Ｒ８～）	利用率の低い部屋、保育室の用途を見直し
中期目標	利用状況調査を行い、休館日の増設や閉館時間の見直しなど、運営方法の最適化に着手する
長期目標	• 職員と施設の集約化する（職員配置の現状や、施設の老朽化や地域別実行計画に併せ、順次実施） • 貸館業務について、指定管理者制度を導入する（地域の実情に併せ順次実施）

新潟市職員の推移

普通会計部門における職員数・総人件費の推移



【出典】新潟市定員配置計画2023

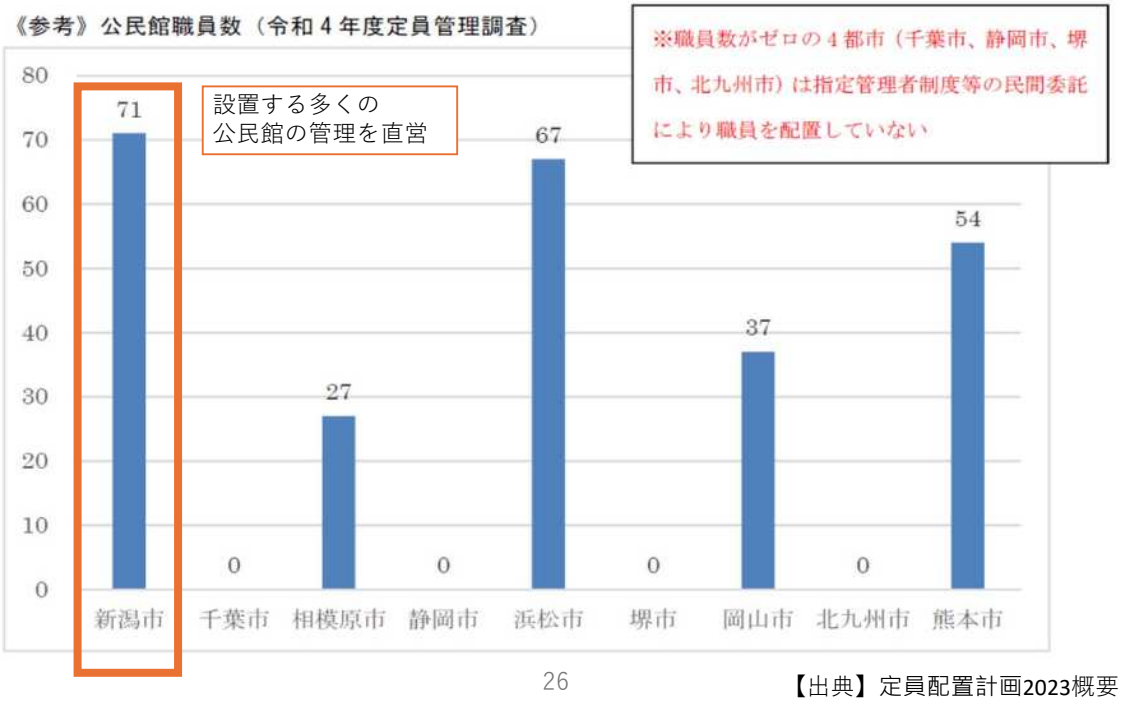
教育部門社会教育関連職員数（人／住民 10 万人）【令和４年４月１日現在】



25

【出典】新潟市定員配置計画2023

《参考》公民館職員数（令和４年度定員管理調査）



26

【出典】定員配置計画2023概要

（4）審議委員への討議事項

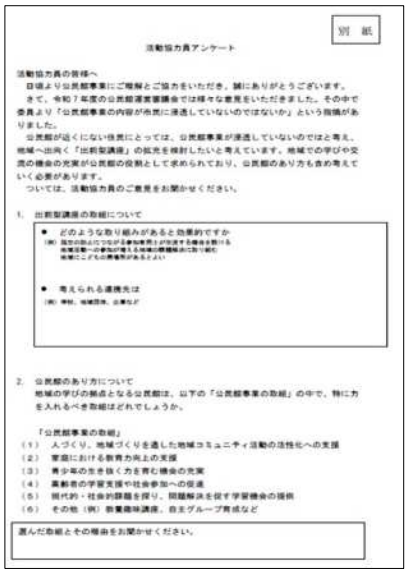
「公民館の再編を見据えた公民館の役割と運営のあり方」について

活動協力員アンケート調査

●目的
- 地域での学びや支援の機会の充実が公民館の役割として、求められている。
- 公民館のあり方について考える。

●調査方法
公民館全25館において、令和8年3月～5月にかけて行われる活動協力員会議で、アンケート形式で活動協力員の意見を聞き取り、各館で取りまとめて中央公民館へ報告したもの。

●調査内容
1. 出前型講座の取り組みについて
2. 公民館のあり方について、特に力を入れる取り組みについて



別　紙

活動協力員アンケート

活動協力員の皆様へ
日頃より公民館事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、令和７年度の公民館運営審議会では様々な意見をいただきました。その中で委員より「公民館事業の内容が市民に浸透していないのではないか」という指摘がありました。
公民館が近くにない住民にとっては、公民館事業が浸透していないのではと考え、地域へ出向く「出前型講座」の拡充を検討したいと考えています。地域での学びや交流の機会の充実が公民館の役割として求められており、公民館のあり方も含め考えていく必要があります。
ついては、活動協力員のご意見をお聞かせください。

1.　出前型講座の取組について

●　どのような取り組みがあると効果的ですか
（例）

●　考えられる連携先は
（例）学校、地域団体、企業など

2.　公民館のあり方について
地域の学びの拠点となる公民館は、以下の「公民館事業の取組」の中で、特に力を入れるべき取組はどれでしょうか。

「公民館事業の取組」
（１）　人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援
（２）　家庭における教育力向上の支援
（３）　青少年の生き抜く力を育む機会の充実
（４）　高齢者の学習支援や社会参加への促進
（５）　現代的・社会的課題を探り、問題解決を図る学習機会の提供
（６）　その他（例）新興趣味講座、自主グループ育成など

選んだ取組とその理由をお聞かせください。

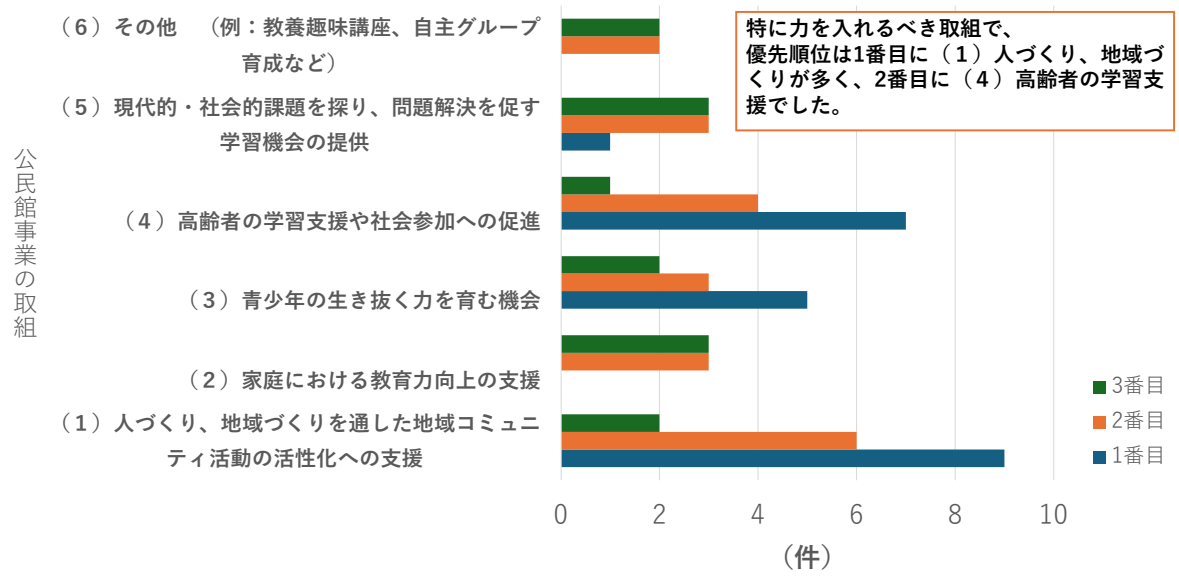
	どのような取り組みがあると効果的ですか	考えられる連携先
北区	● こどもや大人の居場所、高齢者と小学生が交流する場所があったらよい。部活動が地域クラブへ移行し、長期休業中も日中の活動場所がない。初めての妊産婦と先輩ママが何でも話せる場所がない。 ● 学校で出前講座を行う。 自転車の安全な乗り方 や免許証返納に伴う未来と課題　・地域の歴史（今昔）をこどもたちに伝える。 ● 公民館利用団体の活動内容を地域に知ってもらう機会をつくる。地域や学校の要望に応じ、利用者団体が地域に出向き指導（交流）してもらう。 ● （北区独自）登録制人材バンクの設置 。警察、消防、学校、行政、民間等の退職者で資格のある人材を有効活用する。地域からの要望に応じる。	• 学校、CS • コミュニティ協議会 • 老人クラブ • 地域の歴史講師 • 児童館、交番 • 保育士 • 地域の団体、企業 • 新潟医療福祉大学
東区	● 学校の空き教室や体育館を利用して、公民館事業を開催すると公民館に馴染みのない人や公民館まで行けない人も参加しやすい。 ● 夏休みごろに年長さんを対象に、来年通学予定の小学校の見学ができたらいい。 ● 山の下閘門や海上保安庁などの巡視船や連絡船など、実際に施設などの見学ができると学びが深くなるので機会が増えるとよい。 ● こどもと高齢者等の世代間交流（ななめの関係）ができる機会を設ける。 ● 地域活動に対する意識の問題に取り組む。	• 学校 • 地域団体（まちセン、コミセン・コミハなどの会場借用） • イオン新潟東店 • 東区プラザ • いくとぴあ • 省庁・自衛隊・県などの施設見学

	どのような取り組みがあると効果的ですか	考えられる連携先
中央区	● 出前型公民館は地域ニーズ把握と連携が鍵で、民間や商店街、既存のこども食堂等と協働し、こどもや若者への「種まき」を行うべきである。 ● 地域の高齢化により外出機会が減少し、交流機会が減少しているため地域で参加できるイベントを開催し、交流する機会を設ける。 ● 公民館へ来るのが難しい方のために、地域へ出向く講座は良い取組である。こどもから高齢者まで参加しやすい交流の場を増やす。 ● 地域住民が気軽に参加でき、また相互に交流できる機会があるとよい。こどもが自分の住む地域の魅力や課題に気づく機会があるとよい。	• 出前型公民館の連携先は多岐にわたる。商店街や企業など民間主体 • 社協やNPOなど福祉・支援団体 • ひまわりクラブ • 地域の茶の間、老人クラブ
江南区	● 孤立の防止につながる参加者同士が交流する機会への取り組み 。 ● コミセンや児童館、体育館など他の社会教育施設と協力しての講座 。 ● 地域の特徴的な企業の協力を仰ぎ、工場見学やワークショップなど 。 ● バス会社と連携して学校から施設、施設から施設に送迎があると便利なのでは。 ● 学校等の課題に対応した取り組み（学校と目標や課題を共有。社会教育的視点から目標や 課題解決にむけて、学校と共動で取り組むことが肝要。副作用として地域において二次的 活動が波及する）	• 公民館以外の社会教育施設 • 地域に根差した企業や商店（江南区であれば、亀田縞や造り酒屋など） • NPOや公民館利用団体（社会教育関係団体）　こども支援活動機関

	どのような取り組みがあると効果的ですか	考えられる連携先
秋葉区	● 公民館活動は、公民館の事業だと分かってもらえていないこともある。公民館が出前していることをＰＲするため、のぼりを作ってはどうか。 ● 部活動の地域展開で、公民館が持つ人材情報とネットワーク、サークル活動支援の経験とノウハウを活かし、中学生の放課後活動を充実させる。区内中学校へ出向き、自主サークルの設立・運営の支援に取り組んでほしい。 ● タクシー、バスがないため、高齢者が歩いて行ける近くの集落センターなどに集まってもらい、講座を開催したらどうか。 ● 地域のやっている事業（お茶の間など）を出前事業に入れてはどうか。	• 区自治協 • コミュニティ協議会や 町内会 • 学校、ＣＳ、ＰＴＡ、育成協 • 児童館 • 学校 ・交通手段のない高齢者のために介護施設等に協力
南区	● 基幹公民館として相応しい内容の講座を地域に出向いて開催してほしい。 ● 自治会の集会所等に地域の茶の間のような、ちょっとした困りごと相談ができる場所や 孤立の防止につながる参加者同士が交流する機会を設ける。 ● 中学生の放課後活動の場が変化したが、放課後の空き時間を活用し、地域住民を交えた事業を実施することで生徒の地域との交流を促し地域住民の一人として地域を考える人材の育成に資する取り組みを行う。 ● 中学校部活動地域展開に関連して学校活動終了後、部活動が始まるまでの空白の時間を有効に過ごすため、部員に対して地域による出前講座などの時間を提供する。	• 学校、育成協議会 • 地域団体、企業 • 近隣地区の団体やコミュニティセンターなど 町内会（地域団体） • 地域生活センター • 商店街の空き店舗など

	どのような取り組みがあると効果的ですか	考えられる連携先
西区	● 公民館利用団体と小中学校・学童をつなぐパイプ役→普段活動されている内容を発表、協力可能な団体と、来てもらいたい連携先の仲介をしてみる。 ● 取組内容より企画や人材、開催場所をコーディネートする仕組みが重要。情報収集や企画力、人材バンク機能等、職員のパワーアップが求められる。 ● こどもたちに夢を与えられるような取り組み ● こどもたちが「どう遊びたいか」「安全に利用するにはどうしたらよいか」を考える機会にしてはどうか。授業時間内に公民館へ来ることは難しいため、公民館側が学校へ出向いて実施できるとよい。	• 寺 • 学校、学童 • 自治会や福祉施設 • 新潟大学　大学生の人材活用 • 社会教育、学校教育の垣根を超え連携していくこと望ましい • 地域の茶の間
西蒲区	● ホッケーは巻町の町技であったが、やる人が少なくなっている。小学生の頃からホッケーに親しむ機会となる講座があったらよい。 ● 自治会の集会に合わせた講座開催や、地域の希望を取り入れ内容を協議する取り組みが効果的であり、学校PTA事業との連携も期待されている。 ● 障がいや病気の人の理解を深める。キーワード「健康」体・心を健やかに保つ目的や高齢者の認知予防につながる取り組み ・ごみの分別 ● 放課後や夏季・冬季休業期間におけるこどもの居場所づくり ・現代社会における課題（SNS、詐欺等）ついて学ぶ機会を設ける。 ● 学校を会場に日曜日に和太鼓や和楽器の演奏体験をやってはどうか。	• 地域のこども会 ・公民館の事業費は少ないということなので、予算の面でコミュニティ協議会との連携 • 地域の茶の間 • 障がいのある方を雇用している企業等

「公民館事業の取組」の中で、特に力を入れるべき取組



選んだ理由や意見など

人づくり、地域づくり

- すべての前提が（1）人づくり、地域づくりにすべてがつながる。市民に浸透させるための支援になるのではないか。
- 「公民館の取組」については人づくり、地域づくりを通じた活性化支援で共通するが、「何をすればいいか」の答えが見つからない。
- 人とのコミュニケーションの機会がどんどん減少している昨今、公民館を中心として年齢問わず色々な人の交流の場となる事業を残していくことが必要と考える。
- 地域課題が複雑化・多様化する中で、単発的な事業や施設運営だけでは持続的な解決が困難であり、人と人とのつながりを基盤とした仕組みづくりが不可欠であるためである。

高齢者の学習支援

- 高齢者の一人暮らしの多い世の中になっている。孤立防止になるように気軽に参加できる内容で、交流の場ができたらいい。
- 社会と関わる機会が少なくなってきた高齢者などに、今まで以上に生きがいを感じてもらうため、出前型の取組や活動を公民館を拠点として展開してほしい。
- 地域活動へのサポートよりも高齢化、公共交通の課題から、家にこもりがちな人をいかに参画させるか重点的にやるべき。
- 高齢者の方は図書館一つ分くらいの知識を持っていると思うのでその力を社会貢献に活かして、子どもや青少年、子育て世代の人を支えてもらいたい。

人づくり・高齢者以外の意見

- 【家庭教育】一昔前とは家庭背景が違う。親向けの講演会やワークショップがあっても良い。
- 【青少年】公民館事業を通じて、若年層と高齢者、また公民館利用団体間の交流の機会が増えるとよい。
- 【現代的】これ以外の取組はほかも実施している。公民館は取り組むことは現代的課題が一番。

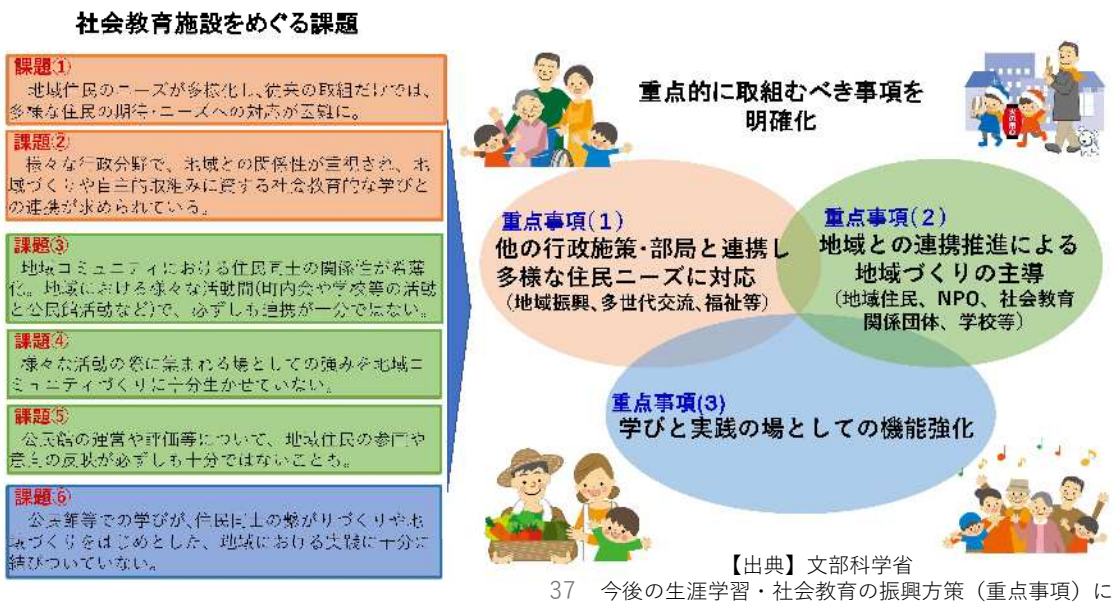
令和7年度公民館以外の施設で実施した事業　245件
（連続講座において1回以上実施）　（全事業の約4割）

1. 人づくり、地域づくりを通した地域コミュニティ活動の活性化への支援　117件
2. 家庭における教育力向上の支援　11件
3. 青少年の生き抜く力を育む機会の充実　55件
4. 高齢者の学習支援や社会参加の促進　11件
5. 現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供　40件
6. その他　11件

主な実施会場

会場	会場の分類	割合
学校	小学校、中学校、高校、大学	３８％
コミュニティ系施設	コミュニティセンター・ハウス、地区集会場など	３２％
上記以外の市の施設	児童館、体育館、高齢者施設など	１４％
屋外・地域の施設	公園、運動広場、野球場、寺、スーパー・商店など	１６％

社会教育施設に関する現状の課題と重点事項



【出典】文部科学省

審議会委員への討議事項

- **公民館の再編を見据えた、公民館の役割と運営のあり方について**

【現状】公民館職員や予算の減少が続く中、地域づくりや住民同士のつながりを支える拠点としての役割が期待されている。

【課題】施設の再編・職員の集約を踏まえ、地域づくりに貢献するため、公民館は今後どのような役割を担い、どのような運営のあり方を目指すべきか。